

## 環境事業センター整備事業の進捗状況について

### 1 事業の進捗状況について

本整備事業については、事業費、継続費の設定などについて、令和元年9月の市議会定例会で補正予算を承認いただき、直ちに設計委託の入札・契約を経て設計作業に入り、現在、基本設計を行っております。また、測量などの調査業務につきましても遅滞なく行っており、概ね順調に進捗しています。

### 2 建物配置等の設計について

(1)鉄筋コンクリート造(以下、「RC造」という。)で地上3階建て、耐火構造とし、延床面積は2,600㎡程度、また、環境事業センター事務所及び新設放課後児童クラブ(以下、「児童クラブ」という。)の複合施設とすることで設計・検討を進めています。

(2)構造については、

ア RC造は剛性が高く地震時等に鉄骨造に比べると建物の揺れ幅が少ないため、内装や建具ガラスの破損、家具転倒による損傷などが少なく、大災害後での継続使用の可能性がより高い。

イ RC造は遮音性が高いため、異種用途の複合施設でのプライバシー保護に優位性がある。

ウ RC造は外装等に定期的なメンテナンスを行うことで耐久性を維持し鉄骨造よりも長寿命化が可能となる。

以上のことから、構造についてはRC造とするものです。

(3)自然光や自然通風を積極的に取り入れ快適な執務空間となることに配慮し、自然エネルギーの利用などを検討しています。また、屋上緑化、壁面緑化、緑化パーキングを設け、熱負荷の軽減など周辺環境へ配慮した施設とします。

(4)災害時には迅速、かつ円滑に継続して業務が行えるよう堅牢な施設として計画するとともに、収集車のための燃料備蓄施設や自家発電設備、太陽光発電設備など業務継続に必要な設備の整備を検討しています。なお、燃料備蓄施設については、安全には万全を期して設置しますが、保護者等の安心に配慮し、できるだけ北側に配置し、児童クラブとの距離をとる計画とします。

(5)建物は現施設と同じ南西側に配置し、南側には住宅地及び石川小学校があり、その他3方は工場地帯であることから南側に児童クラブを配置しました。

- (6) 車両の出入口は西側道路、敷地の北側に設け、交差点や児童クラブからできるだけ距離をおき、安全性に配慮しました。
- (7) 車両出入口とは別に歩行者出入口（階段・スロープ）を設け、動線を明確に分離し来庁者の安全に配慮しました。

### 3 各諸室の設計について

#### (1) 1階諸室

- ア 児童クラブの出入口は、環境事業センターの出入口とは完全に分離し、お互いが視認できない配置としました。
- イ ごみ収集作業職員が作業準備を行うための主要室である脱靴室は、自然通風に配慮し、東西に風が抜ける配置としました。

#### (2) 2階諸室

事務室は車両出入口、洗車場、駐車場等が管理しやすく視認できる位置に配置しました。

#### (3) 全体計画

西日を強く受ける立地であることから、居室についてはできるだけ東側に配置し、トイレや倉庫、更衣室などを西側に配置することで快適な執務空間とする計画としました。

### 4 概算建築費

新収集事務所の建築費は、現時点では19億9,860万円程度と想定しています。

### 5 住民説明の状況

- (1) 近隣自治会・町内会に対し、回覧での周知を行いました。
- (2) 藤沢市立石川小学校及び石川小学校区の既存児童クラブ「みつばち児童クラブ」の保護者に対し説明を行いました。

### 6 全体スケジュール

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
仮設事務所建設						建設工事	仮設事務所での業務						復旧工事		
					事前調査									事後調査	
新事務所建設				基本・実施設計			建設工事			供用開始					
					事前調査									事後調査	

以上

(事務担当 環境部 環境事業センター)